



1 週間しゅうかんはどうして7日かなの

5000年ねんいじょう以上まえも前きに決められていた

1 週間しゅうかんを7日かにするというのは、今いまから5000年ねんいじょう以上まえも前きに決められたことです。当時とうじ、古代バビロニアという所ところに住すんでいた人たちは、6日働はたらいて、1日休にちやすむという習慣しゅうかんがありました。1 週間しゅうかんが、7日と決められたのはそのためです。

当時とうじの人々にとっても、1日より長く、1か月より短い日にちの単位たんいが、生活せいかつをしていく上で必要ひつようでした。そこで、7日かをひとまとめにした1 週間しゅうかんがつくられたのです。

10日働はたらいて1日休にちやすむのでは、休みやすみが少なくて疲つかれてしまいます。また、5日に1日休にちやすんでいては、仕事しごとがはかどりません。そんなところから、昔むかしの人は、7日に1日休にちやすむようにしたと考かんがえられています

もともと、宗教しゅうきょうてき的なことことから1 週間7日制しゅうかん か せい はじが始はじまった

今いま、わたしたちが使つかっている1 週間7日制しゅうかん か せいは、キリスト教きょうの旧約聖書きゅうやくせいしょの創世紀そうせいきにもあるように、宗教しゅうきょうてき的なことことから始はじまりました。それが、キリスト教きょうやイスラム教きょうとともに、世界せかいじゅう中に広ひろまっていったのです。そして、今いまでは、世界せかいじゅう中でこの1 週間7日制しゅうかん か せいが使つかわれているのです。(監修・田代 脩)

